

# 森の学校だより

ろうきん森の学校全国事務局 419-0305 静岡県富士郡芝川町下袖野165 TEL:0544-66-0790 FAX:0544-67-0567  
URL: <http://www.wens.gr.jp/morinogakko/index.html> E-mail: [forest@wens.gr.jp](mailto:forest@wens.gr.jp)

## 森の人 Who's Who!?

## 新しい知識も人との出会いも たくさん収穫できました

植物を育てるのは  
楽しいですよ～

Q...毎回、車で1時間半。人も場所も魅力です

私の自宅から「ろうきん森の学校」のある北広島町までは車で1時間半。高速からの風景がすてきだし、山道を走るのもいいリフレッシュになるんです。フィールドも広大な敷地と森が気持ちいい。もともと遠出は好きなんです。「ろうきん森の学校」に参加するきっかけも、パーマカルチャーの尾道での集まりでスタッフの方と知り合ったから。その後、メーリングリストでイベントの告知をいただいて興味を持ち参加しました。それが一昨年の10月。10人くらいで、木にネームプレートを付けたり、下草刈りをしたり。こういう場で新しい人たちと出会い、一緒に作業をするのがとっても楽しい。スタッフのみなさんも視野が広くておおらかな人ばかりなんです。人も場所も魅力ですね。

Q...麦まきから石窯パンまで手軽に体験

自然農法などには興味があったんですが、森の学校の「小麦プロジェクト」はいいですよ。麦まき、麦踏み、そして収穫から製粉した小麦粉でパンを焼くところまで、全部を体験できる。実は小麦は収穫後が大変なんです。穂を叩いて麦粒を落とし、ゴミをとって...。でも、そういうところは

お話をする人

広島地区

大西真紀(おおにしまき)さん

1976年、広島県生まれ。自分たちが食べる野菜や米は自分でつくるといふ家庭環境で育ち、自らも大学は農学部へ。卒業後、しばらく造園会社に勤めたが、現在は家業の電気工事会社を手伝いながら山野草の生産・販売や畑作りに精を出すスローな毎日を送る。

スタッフの方がやって下さって、私たちは、まさに美味しいところだけ体験できる。スタッフ特製の石臼もすごいですよ～。木のハンドルで回すから楽なんです。パンを焼く回には、山口県で「石窯パン研究会」をしている先生が石窯で焼くパンを教えてください、直に質問もできて勉強になりました。

Q...今後はアクティブな活動もしたい!

今は実家の仕事を手伝いながら、山野草の生産・販売の見習いをしたり、自分で畑もやっています。おばあちゃんが自家用に普通の野菜は作っているので、私は大豆や小麦、インゲン豆など変わったものが担当。20mプールくらいの小さな畑で、小麦も3キロくらいしか取れませんが、育てるのが好きだし、最近は酵母パン作りにもはまっています。先日、個人的に屋久島で山登りをしたんですが、これが気持ち良かった!「ろうきん森の学校」でも、山登りや森歩きのようなプログラムもあるといいな。森づくりの活動とは少し離れるかもしれませんが、たまには自然の中で純粋に身体を動かすアクティブな活動もいいですよ。

おマメも山野草も自家製です!

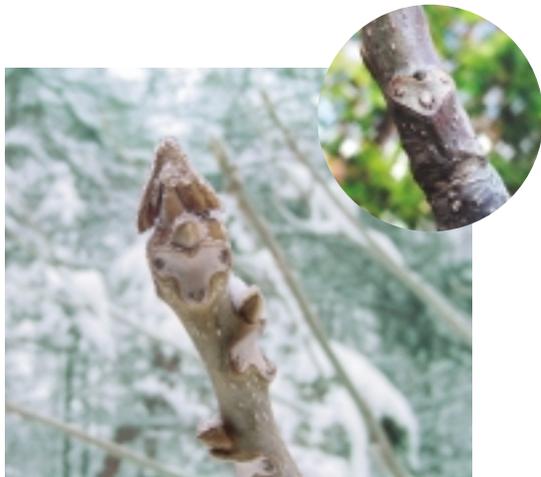


## 「枝先のヒツジ!?」～春をじっと待つ木々たちに出会いましょう～

寒い日が続いていますね。地球温暖化への懸念がさまざま訴えられているなか、今年は暖冬かと思いきや、長期予報では平年同様日本海側では曇り・雨・雪が多く、太平洋側では晴れの日が多いとか。ただし、寒暖の変動が大きいとのことなので春の訪れは意外に早いかもしれません。

寒い冬は外出が億劫になり室内で過ごしがちですが、生き物たちはじっと耐えて次にやってくる春に備えています。昆虫や動物には冬眠や卵で冬を越すものがありますが、森の木々たちはどうしているのでしょうか。

樹木には冬になると葉をすべて落とす「落葉樹」と、冬でも葉を茂らせている「常緑樹」があります。前者の代表例は、都市の街路樹でもおなじみのケヤキやイチョウ、後者は春先に花粉で悩まされるスギや西日本に多いクスノキなどです。このうち、葉を落とした落葉樹の枝先をよく観察してみると、何やら小さな芽が付いています。これらは「冬芽」といって、来るべき春に備えて葉や花が格納されているのです。寒い冬を乗り越えるための植物の知恵ですが、けっこう面白い姿をしています。有名なのはオニグルミ。ヒツジの顔に似ていませんか？ このほ



じっと春を待つ冬芽。まさに「羊たちの沈黙!?」。

かにも自由な発想で見ると、いろいろな顔が見えてきます。通勤途中のおなじみの街路樹や、普段散歩している近所の公園の樹木で、冬芽に注目した樹木ウォッチングはいかがでしょう。

「冬来たりなば 春遠からじ」という言葉の通り、ちょっと足を止めてじっくり観察してみると、木々の先には来るべき春に備えてじっとその時を待っている生命の息吹が感じられることでしょう。

## ありっちょの 体当たり 体験レポート

vol.8

## 初冬の森の楽しみ方

～「生き物自然紀行」  
in 田貫湖～



体験する人  
有正あかね

「ありっちょ」こと、有正あかねは「ろうきん森の学校」の全国事務局担当。前職の教員時代に、自然体験で子どもたちの目が輝くと実感。現在は、ホールアース自然学校で奮闘しつつ、環境教育のプロを目指しています！さて、今日のありっちょはどこへ行く？



カラフルな秋の名残をのんびり探す。



「何、これ!?」。  
フクロウの  
ペリットに  
びっくり。

突然ですが、私、デジイチ(デジタル一眼レフカメラ)を買いました。日常の何気ないひとコマを「パシャリパシャリ」することに、最近ハマっています。

さて今回はそのデジイチを持って、富士山地区の田貫湖エリアへ向かいました。「自然紀行」の案内人は、三



高所での巣箱の付け替え作業に挑戦中。

度のメシより鳥が好きな"やまっち"こと山崎さん。参加者は労働金庫連合会の職員のみなさんでした。

私も田貫湖エリアへは何度か足を運んでいますが、今回は参加者なので余裕があり、お気に入りのデジイチでパシャリパシャリ。普段はあまり見えないものにも目がいきます。カサカサと落ち葉を踏みながら歩く径で発見した「秋の名残」。これは何色だろう？黄色でもない茶色でもない…。冬の森にも繊細な色が溢れています。

さて興奮気味のやまっちが見つけたのは、泥？フン？いいえ、よく見るとフクロウのペリット(吐出した不消化物)。普通に歩いていると、まったく気付かないものですよ。ただの森が「ただの森」でなくなる瞬間でした。きっと動物たちはこの森に隠れて、じっと私たちを見つめているに違いない!!! 出会いたい!!!

目線を少し変えたらいろんなものが見えてくる。自然の中も人生も…。そんなことをしみじみ感じた1日でした。さあみんな、いろんな出会いを求めて、いざ! ろうきん森の学校へ。

## よみがえる! カタクリの花



みんなで整備した里山に、カタクリの花がよみがりました。株数も少しずつ増えています。見頃は4月上旬ですよ。

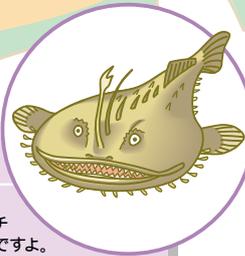


藤原エリアではサツマイモも大豊作



### あんこう鍋

茨城と並んで有名な福島のあんこう。あん肝と味噌を入れたおつゆにゼラチン質たっぷりのぷりぷりの身が絶品ですよ。



### ソバも野菜も自前で味わう 収穫の秋

昨年11月に行われた恒例の収穫祭。標高500m地点で収穫したソバ、藤原地区の畑のサツマイモ、サトイモ、ダイコン、ネギ、さらに湯ノ岳地区に植菌したキノコと近くの山で採った天然キノコ!! 調味料以外はすべて自前の贅沢な食材となりました。

「自分が作った食材で、腹いっぱい



泥を落とすと真っ白なダイコンが!

おいしく食べる」という初めての経験にみんな感無量。自給自足生活の喜びもたっぷり味わいました。

福島地区は、春から秋は農作業、秋から春は山仕事中心という活動を続けてきましたが、今後も「目指せ! 完全自給自足」でスタッフ一同頑張っていきます!

### 育樹祭で雨も楽しむ 自然観察会

さる11月10日、福島県主催の育樹祭がいわき市石森山周辺で開催され、ろうきん森の学校も自然観察会と木工体験を行いました。

あいにく雨模様の自然観察会では「外に出るの!?!」と戸惑い気味の方もいましたが、雨だからこそ雨粒や、普

段は見ない葉の裏をじっくり見たり、晴天時とは違った自然のおもしろさを味わっていただけたようです。木工体験では、湯ノ岳で採ったドングリや木の実、竹や間伐材を材料に、子どもばかりか大人も真剣に作品作りに挑戦。できあがった作品はお土産として記念に持ち帰りました。

みなさんと森のめぐみをたくさんいただいた福島地区の秋でした。



子ども大人も立ったまま、作品作りに熱中。



## 江戸の夜食も、いまや大陸だのみ

やせた土地でも栽培できて、小麦に比べタンパク質やアミノ酸も豊富なソバは、救荒作物として重宝され、奈良時代にはすでに栽培されていました。現在のように細く切って食べるようになったのは江戸時代のこと。冬になると「夜鷹そば」といって、屋台で温かいそばを売り歩いたといわれています。現在、国産では北海道が生産量の4割を占めていますが、いまや自給率は2割ほど。ほとんどは中国から輸入されています。

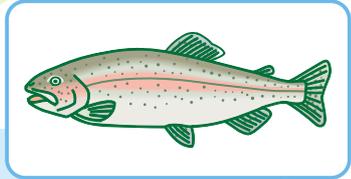
## 暦のうえでは、もう春!



寒い冬もあと少し。また生命が生まれる春がやってきます。野草が顔を出し、動物たちもぼかぼか日なたぼっこ。



子どもにも大人にも親しまれてきたツリーハウスが生まれ変わります。どうぞ期待!!



### 春を告げるマス釣り大会

柚野に隣接する富士宮市は日本有数の養鱒の町。3月ごろには恒例のマス釣り大会が行われます。富士山の湧き水がマス育てます。

### 鱒も焼きそばも森も満喫、秋祭り!

「ろうきん田貫湖秋まつり」は、田貫湖エリアの森を活用し、森林での自然体験に親しむことを目的にしています。昨年の10月には、無事第2回目の開催となりました。

太陽に輝く田貫湖に富士山という絶景のもと、地元の方による特産の鱒バーガーや鱒の塩焼き、名物の富士



ちょっと怖いけど木の上からの眺めは最高!

宮やきそばなどの模擬店や、太鼓連による陣馬の滝太鼓、富士山 × クイズで会場は大盛況でした。

さらに、丸太でパズルを作ったり、竹でパームクーヘンを焼いたり、高い木にロープで登ったりといった森林体験は、子どもたちだけでなく大人の方も満足して下さったようです。

### ろうきんの新入社員が間伐体験

10月26日、御殿場エリアにて労働金庫連合会、日本労信協の新入社員11名を対象にした研修会が行われました。まずは労働金庫連合会の岡田理事長から新入社員に向けての講義、続いて敷地内のヒノキの間伐を行いました。雨空のもと、作業着に着替えた11人は戸惑いながらも懸命にノコギリ

を使って木を伐り、それを玉切りして皮を剥ぎ、汗びっしょり。

組織トップと次世代を担う新入社員が一緒になって「自分達にできることは何か?」を考え、行動を共にする機会は今回が初めてで、新入社員達も多くを学んだようです。

今年の2月にはフォロー研修を行い、今回伐採した木を乾燥させて敷地の整備に活かしていく予定です。



作業を通じてチームワークの大切さも学びました。



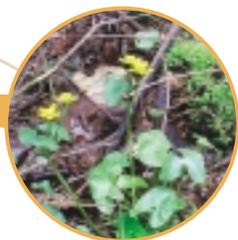
## 木の上の秘密基地、ツリーハウス

近年、流行のツリーハウス。本格的な大人の隠れ家から、間伐材による森林プログラムまで形態はいろいろですが、自分で組み立てる楽しさと自然との一体感が人気の秘密。ホンの数m、地上から離れただけで気分は森の民。指南書を読んで仲間と挑戦してみたいかがでしょう。ちなみに、ニューギニアのコロワイ族は、地上50mの樹上の家で暮らします。猛獣や害虫、湿気などから身を守る快適な家なのだから。

## 雪の色が溶け込む早春の花



2月初旬は、おそらく県内でも最も早く咲く花、セリバオウレンが見頃。雪が溶け込んだようなきれいな花です。



4月には湿原の宝石と呼ばれるエンコウソウが見頃ですよ。



現在、プレハブ小屋を増築中！  
斜面の土留めや間伐材の皮剥もなんのその。作業は毎週月曜日。興味のある方は来てね。

### 森の素材で「ピタゴラスイッチ」!?

「久しぶり！ 今日は何するん?。」"わくわく探検隊"にもすっかり慣れた子ども達を、学生ボランティアを含む7名のスタッフでお出迎え。10月はコミュニケーションをテーマにしたネイチャークラフトで、テレビでおなじみのピタゴラスイッチ(仕掛けクラフト)をつくりました。



子どもだけでなく大人も熱中してしまいます。

まずは秋の森を探検して材料を探し、集めたものを披露してトレードタイム。「これが欲しいなら、あれちょうだい!」と駆け引きも楽しめました。仕掛けが動くよう、何度も試行錯誤した作品が肝心の発表会で動かず、といった場面もありましたが、みんなで協力して楽しんだようです。

次回の"わくわく探検隊"は雪の降るころに開催です!

### 旬を食べ、遊ぼう!“ 森のカフェ ”

10月の"森のカフェ"に、紅葉、芸術、食...様々な秋を求めて集まった参加者たち。実はほとんどが森の学校初体験。まずは、艶やかに色づいた森で、落ち葉の音を楽しみながら自分の「お気に入り」を拾い集めました。そして

4~5人のグループに分かれて、50cm角の空間にひとつの世界を表現しました。森で拾った変わった形や珍しい色が組み合わさった作品はまさにアーティストチック!

そしてお昼は、みんなで作る秋ランチ。秋の味覚たっぷりのスープスパゲティーとピザに、デザートはワイン焼きリンゴ。秋をたっぷり堪能した食いしん坊な芸術家たちの笑い声が森に響き渡った1日でした。



「これなんじゃろう わからんけどようできとるね〜」



## 間伐をしよう! 間伐材を使おう!

間伐とは、曲がった木や混み入った枝、細い木などを整理して、森を明るく健康な状態にする作業です。健康な森では残った木もまっすぐ太く節のないきれいな木材に育ちます。間伐材は、以前は建築現場の足場などに使われていましたが、最近はグリーン購入法などでその利用が推進されています。国産材を使い、木を育てることはCO<sub>2</sub>の削減に役立つし、森の作業はいい汗をかくて気持ちのリフレッシュになりますよ。

# 森の掲示板

## 道具考

8

ひごのかみ

### 肥後守



昭和の少年の大事な道具、肥後守は実は兵庫県産。その名は肥後熊本藩主、加藤清正の名刀にあやかったとか。昭和30年代の浅沼事件を機に刃物は危険視されカッターにその座を奪われたが、自分で研ぐ技とナイフは一生もの。復権を望む。

昭和35年、社会党代議士を少年がナイフで刺殺した事件。

## 事務局より

ろうきん森の学校事業は今年で4年目を迎えます。「森・人・地域を育てる10年間のプロジェクト」と銘打ったプロジェクトもそろそろ中盤を迎えますが、人づくりや地域づくりはその成果が目に見えてくるまでに長い時間がかかり、地道な取り組みが欠かせません。

一方、森づくりでは思ったよりも早く変化を目にすることができます。福島地区からはカタクリ復活の情報が届き、富士山地区ではシノダケで覆われていた藪が「森と畑のようちえん」のフィールドに再生され、親子の歓声がこだましています。広島地区では「マツタケの復活!」を夢見て枯れたマツを除去しています。

人の手が加わることで確実に変化をしていく里山。自然の移り変わりを目の当たりにしながら体感できる里山は、「ろうきん森の学校」の一番の先生なのです。

## ろうきん森の学校 活動予定

活動にはどなたでも参加できます。詳細は各地区の事務局にお問い合わせ下さい。

### 富士山地区

- 袖野エリア
- 田貫湖エリア
- 御殿場エリア

1月

- 20(日) 里のめぐみのおすわけ  
～ 暖菜～  
●2,000円
- 19(土)～20(日) 森と畑のようちえん  
～ 風で遊ぶ～  
●18,000円(親子1組)

2月

- 10(日)～11(月・祝) ツリーハウスをつくろう!  
第二弾  
●12,000円(1泊3食付)
- 17(日) 里のめぐみのおすわけ  
～ 発酵菜～  
●2,000円

3月

- 1(土)～2(日) 森と畑のようちえん  
～ 火で遊ぶ～  
●18,000円(親子1組)
- 16(日) 里のめぐみのおすわけ  
～ 里山菜～  
●2,000円

#### Information

NPO法人ホールアース研究所 担当：山川、井戸  
419-0305 富士郡芝川町下袖野165  
TEL：0544-66-0790 FAX：0544-67-0567  
E-mail：forest@wens.jp

#### Access

電車：JR身延線「西富士宮駅」よりタクシー15分  
車：東名高速道路富士I.C.より西富士有料道路経由40分



### 福島地区

- 湯ノ岳エリア
- 岩出・好間・藤原エリア

- 19(土) 自然わくわく観察会  
～ 間伐体験と炭焼き～  
●300円

定例作業(誰でも参加できます。当日9時、現地集合)

- 第1、第3土曜日・毎週水曜日...森の手入れ
- 第2、第4土曜日・毎週月曜日...農作業
- 第1、第3日曜日...動植物調査
- 第2、第4土曜日...自然体験プログラム勉強会

- 16(土) 自然わくわく観察会  
～キノコの植菌体験～  
●300円

定例作業(誰でも参加できます。当日9時、現地集合)

- 第1、第3土曜日・毎週水曜日...森の手入れ
- 第2、第4土曜日・毎週月曜日...農作業
- 第1、第3日曜日...動植物調査
- 第2、第4土曜日...自然体験プログラム勉強会

- 15(土) 自然わくわく観察会  
～ 野外料理体験～  
●500円

定例作業(誰でも参加できます。当日9時、現地集合)

- 第1、第3土曜日・毎週水曜日...森の手入れ
- 第2、第4土曜日・毎週月曜日...農作業
- 第1、第3日曜日...動植物調査
- 第2、第4土曜日...自然体験プログラム勉強会

#### Information

NPO法人いわきの森に親しむ会  
970-8326 いわき市常磐藤原町湯の岳2 湯ノ岳山荘内  
TEL：0246-44-3273 FAX：0246-44-3273  
E-mail：yunodake@gray.plala.or.jp

#### Access

電車：JR常磐線「いわき湯本駅」よりタクシー15分  
車：常磐自動車道いわき湯本I.C.より10分



### 広島地区

毎週月曜日は里山整備活動。参加自由・無料。初参加は問い合わせを。

- 26(土) こむぎプロジェクト～麦踏み～  
一般●2,000円  
学生・サポーター●1,700円  
中学生以下●1,500円

- 27(日) ユースボランティア養成講座  
～ 自然体験活動・技術編4～  
スノーハイク  
●1,500円(高校生以上)

- 9(土) わくわく探検隊～スノーハイク～  
●3,000円

- 17(日) こむぎプロジェクト  
～ 麦踏み～ & 週末森づくり隊～ 枝打ち～  
一般●2,000円  
学生・サポーター●1,700円  
中学生以下●1,500円

- 23(日) わくわく探検隊  
～ 1年間のまとめ～  
●3,000円

#### Information

NPO法人ひろしま自然学校  
733-0004 広島市西区打越町11-8-207  
TEL：082-237-1163 FAX：082-237-8863  
E-mail：nkk2002@mac.com

#### Access

電車：JR山陽新幹線「広島駅」よりバス60分  
車：広島自動車道広島北I.C.より20分

